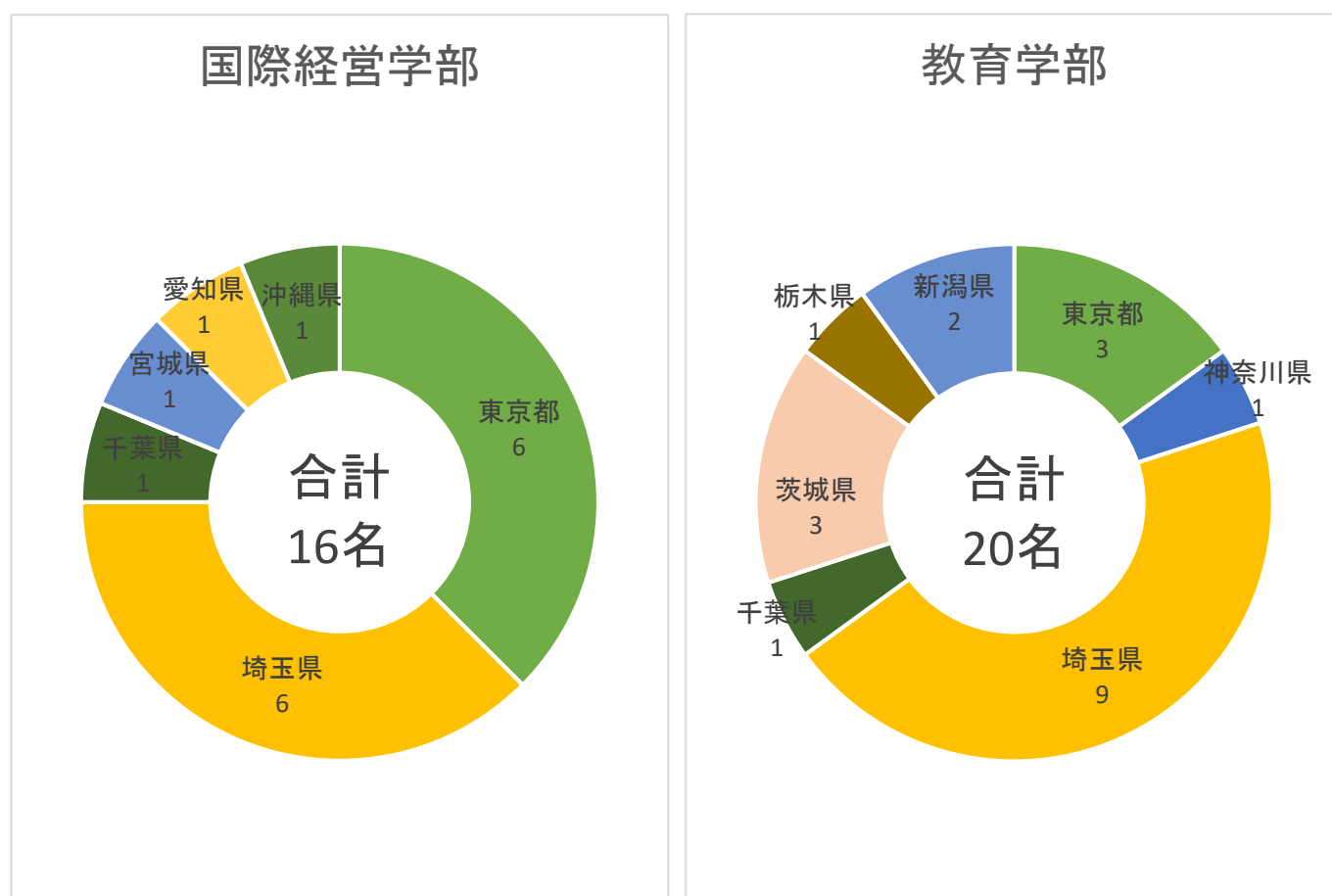


2022 年度卒業生対象「卒業生アンケート」

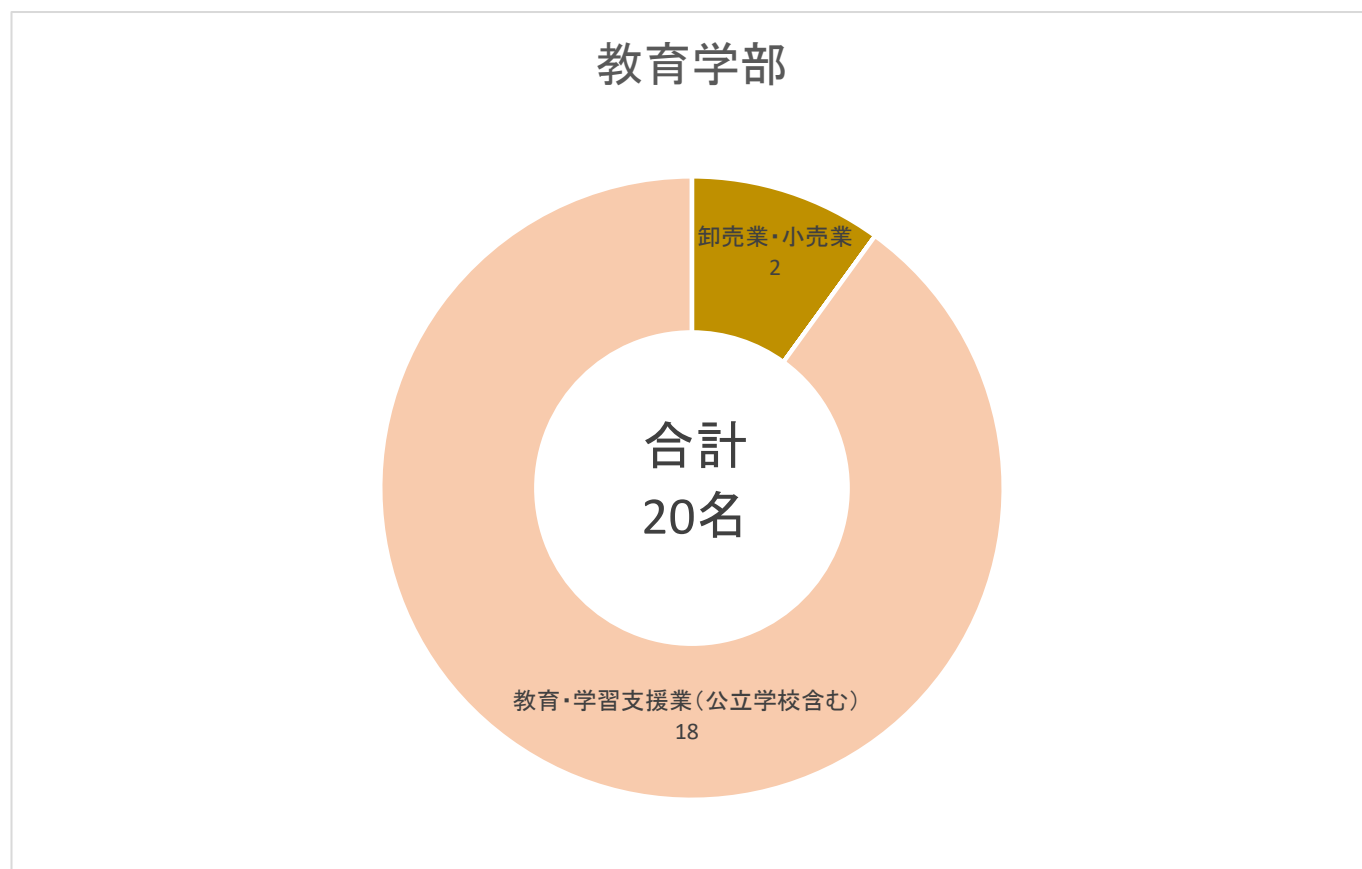
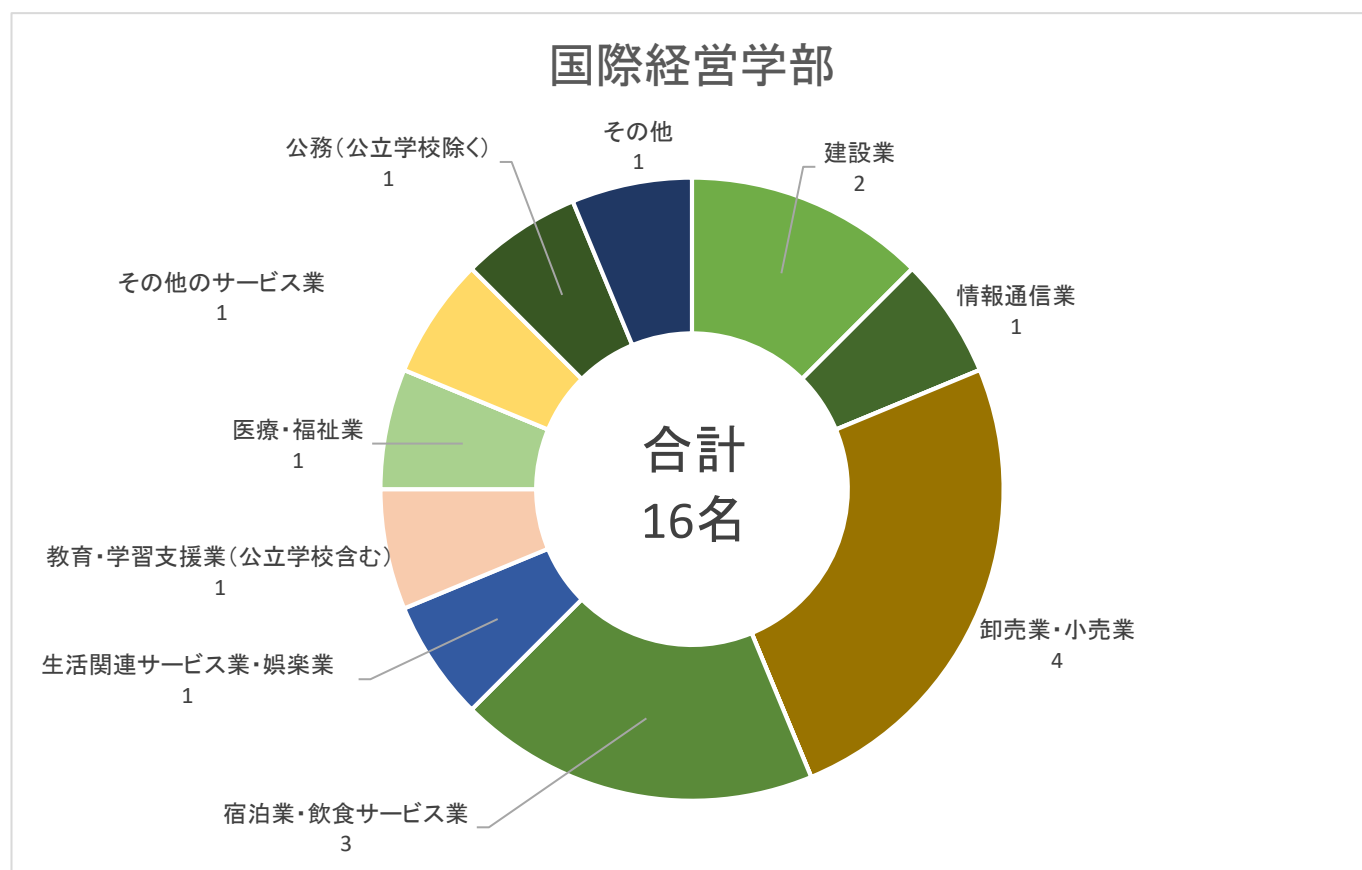
1. 調査対象者：2022 年度卒業生 311 名（内訳：国際経営学部 192 名 教育学部 119 名）
2. 回 答 数：両学部合計 36 名
国際経営学部 16 名（男性：10 名、女性：6 名）
教育学部 20 名（男性：5 名、女性：14 名、未回答：1 名）
3. 回 答 率：11.6%
4. 実施期間：2024 年 3 月 7 日（木）～ 2024 年 3 月 27 日（水）
5. 実施方法：Microsoft Forms を利用した web アンケート

回答結果：

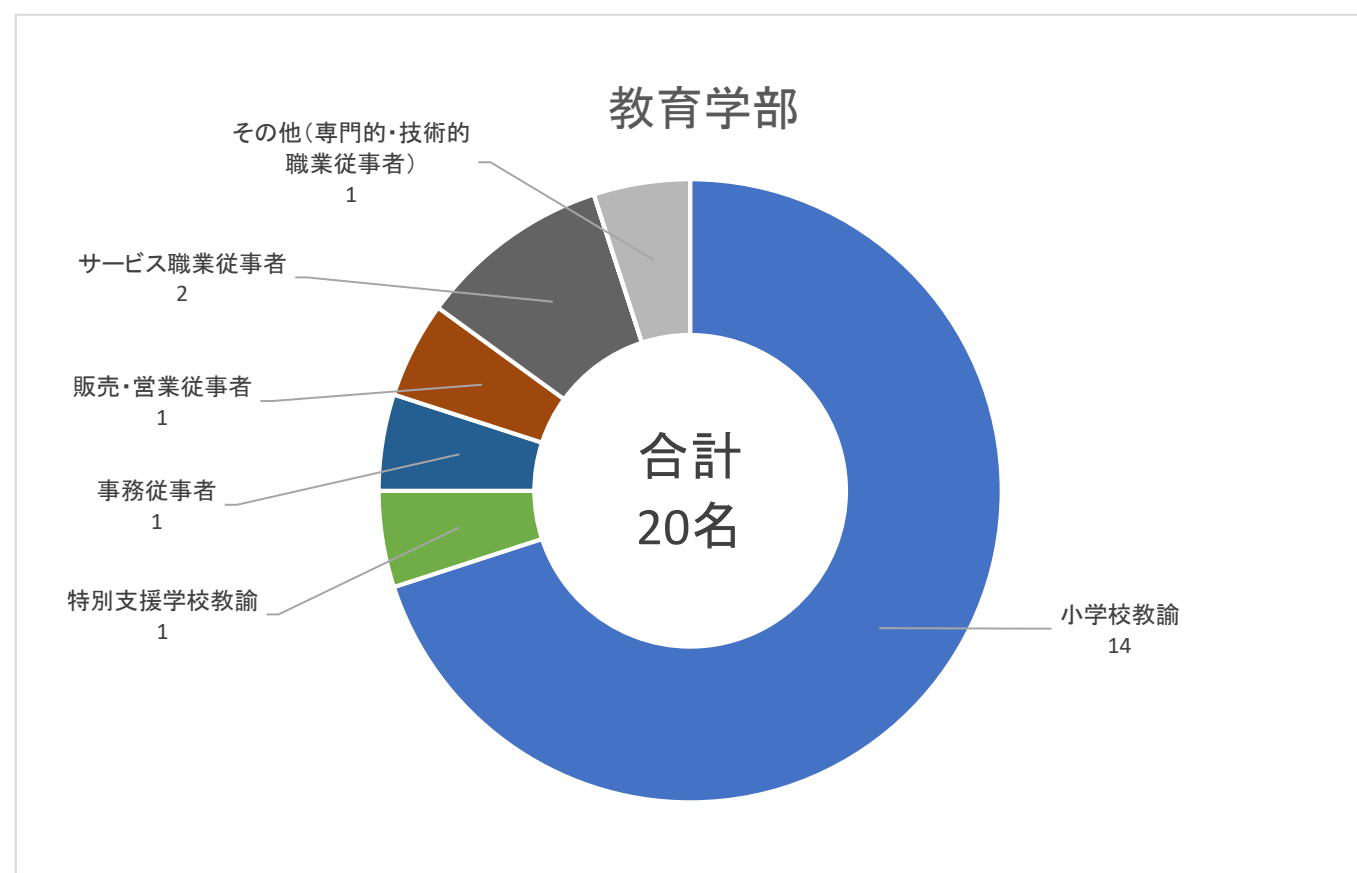
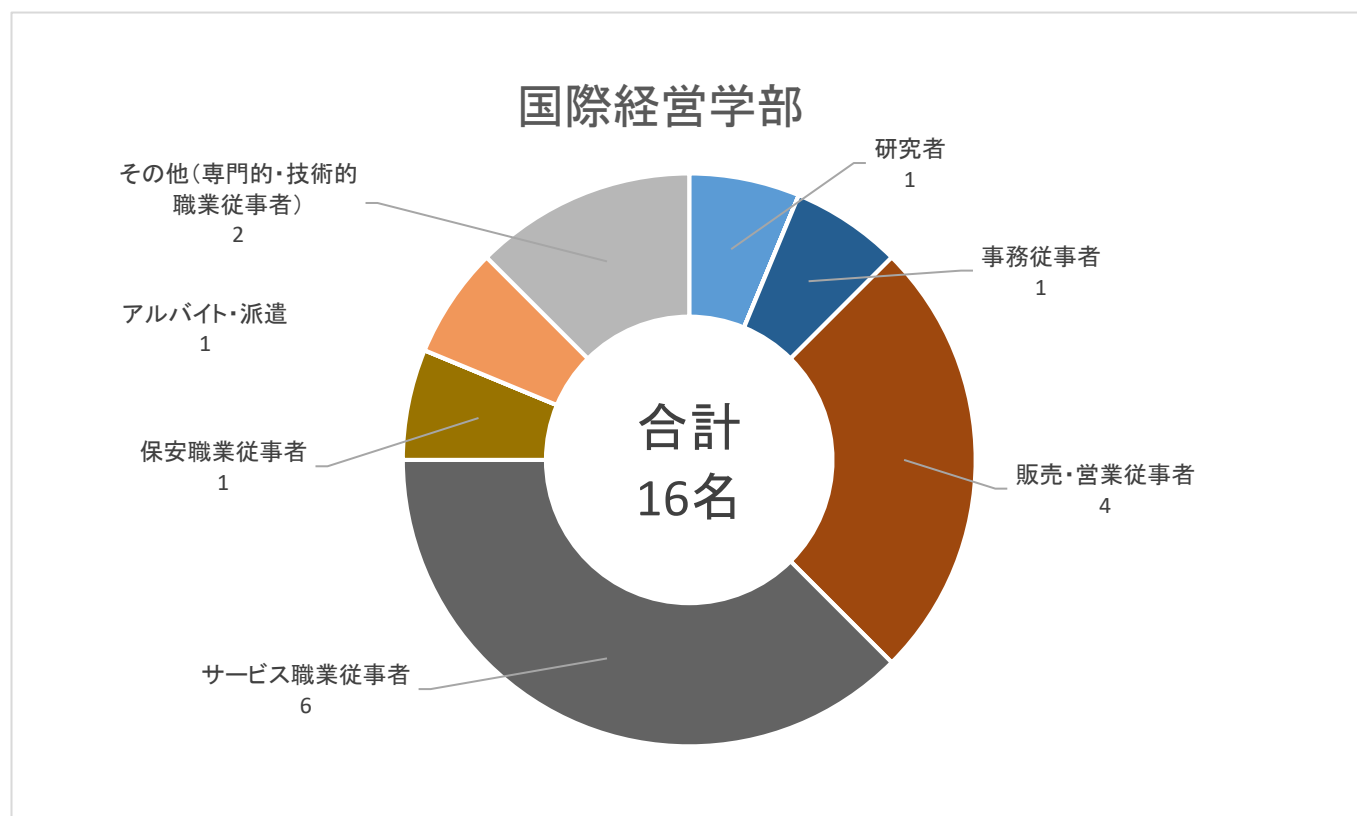
問 4 勤務先の所在地を選択してください



問5 勤務先の主たる業種を選択してください

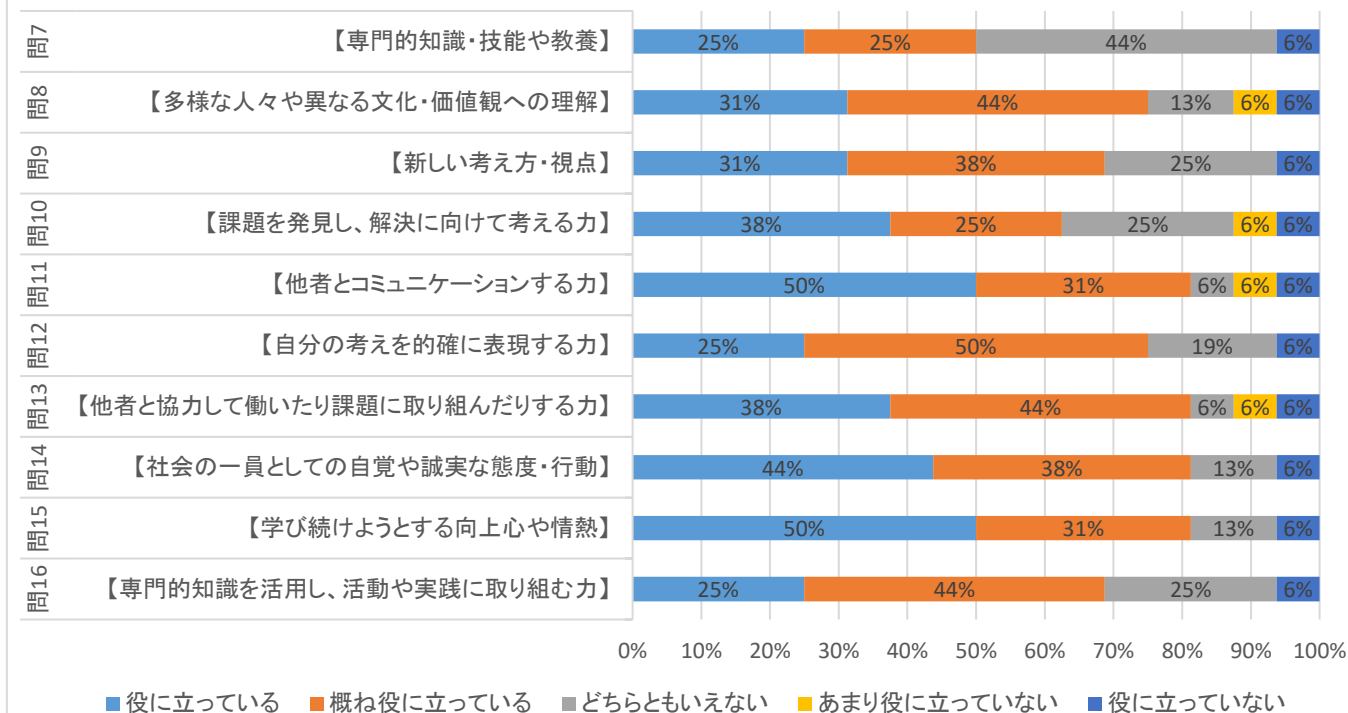


問6 勤務先の主たる職種を選択してください

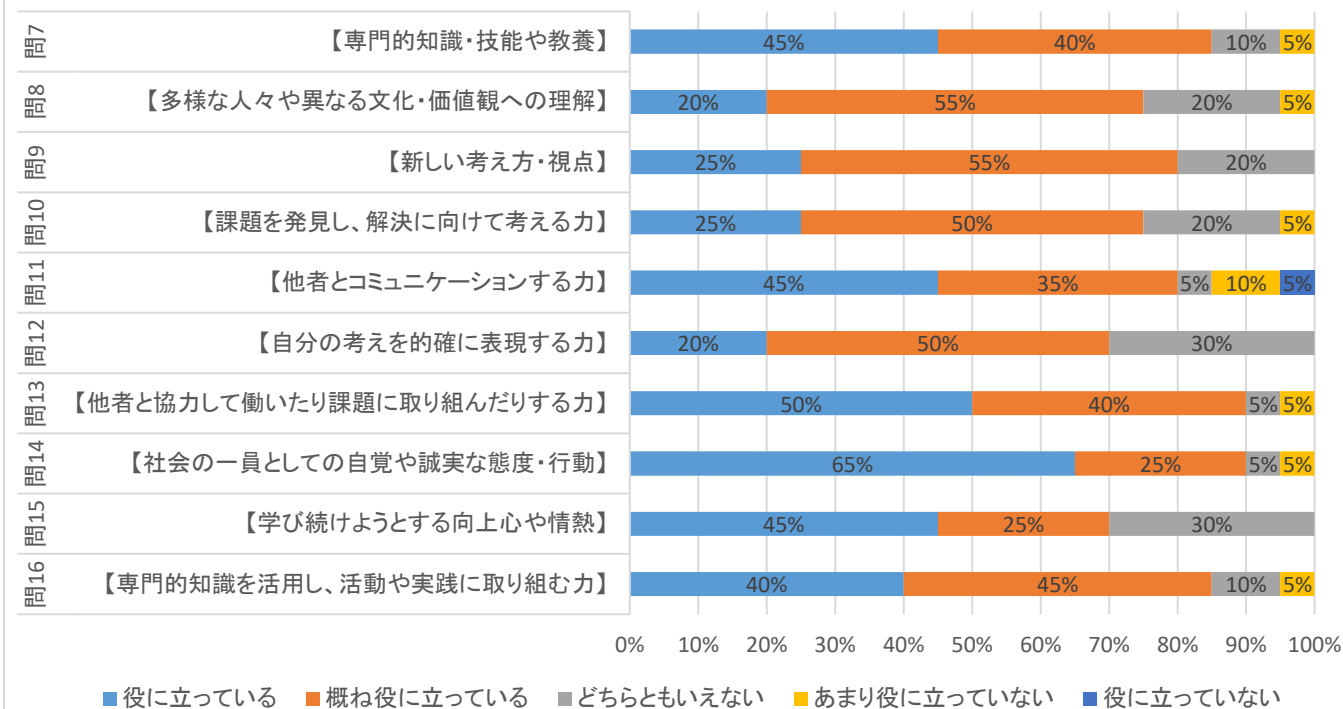


【ディプロマポリシー（学修成果の目標）の達成について】
 本学の教育は実社会においてどの程度役に立っていると思いますか

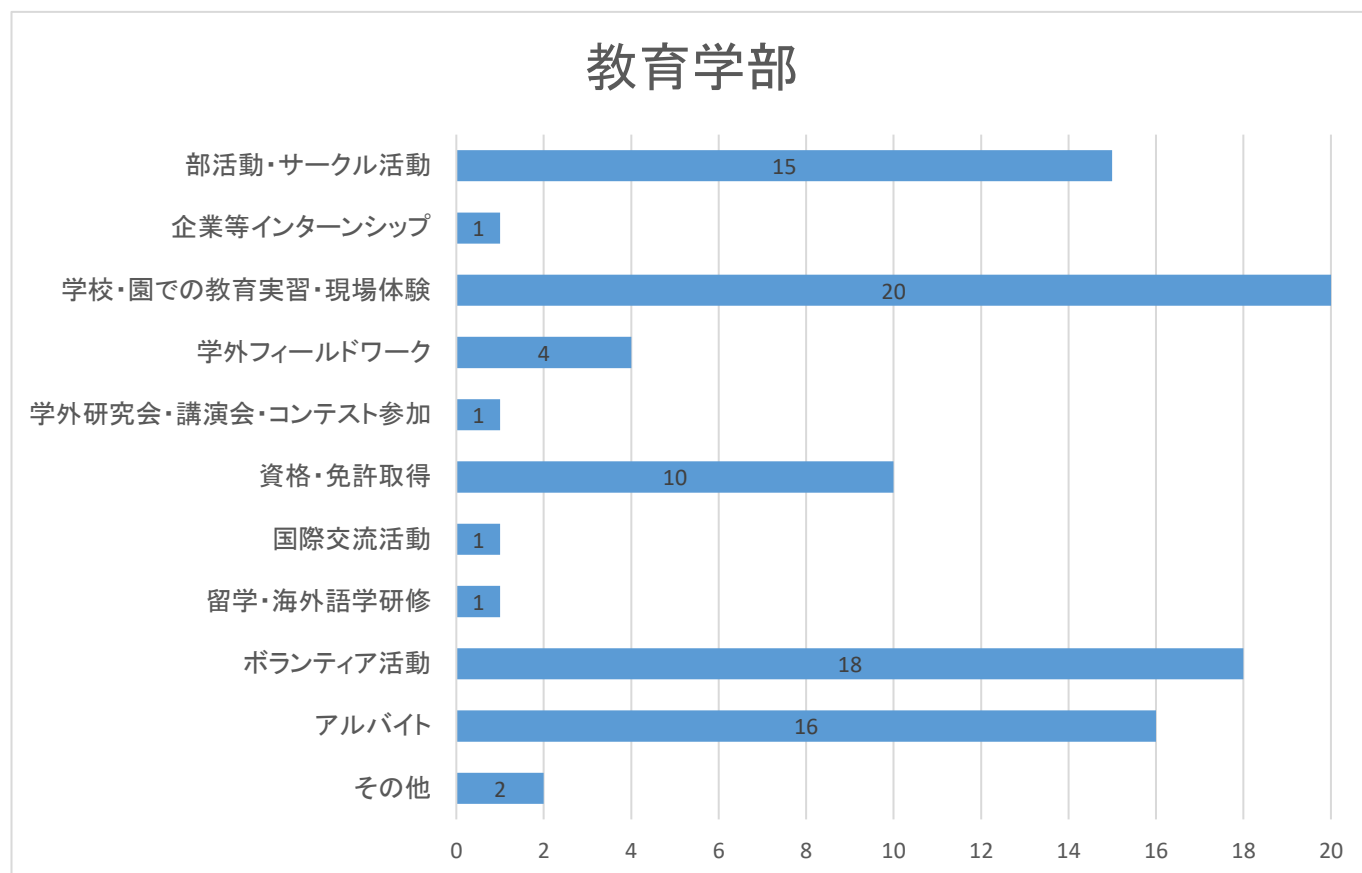
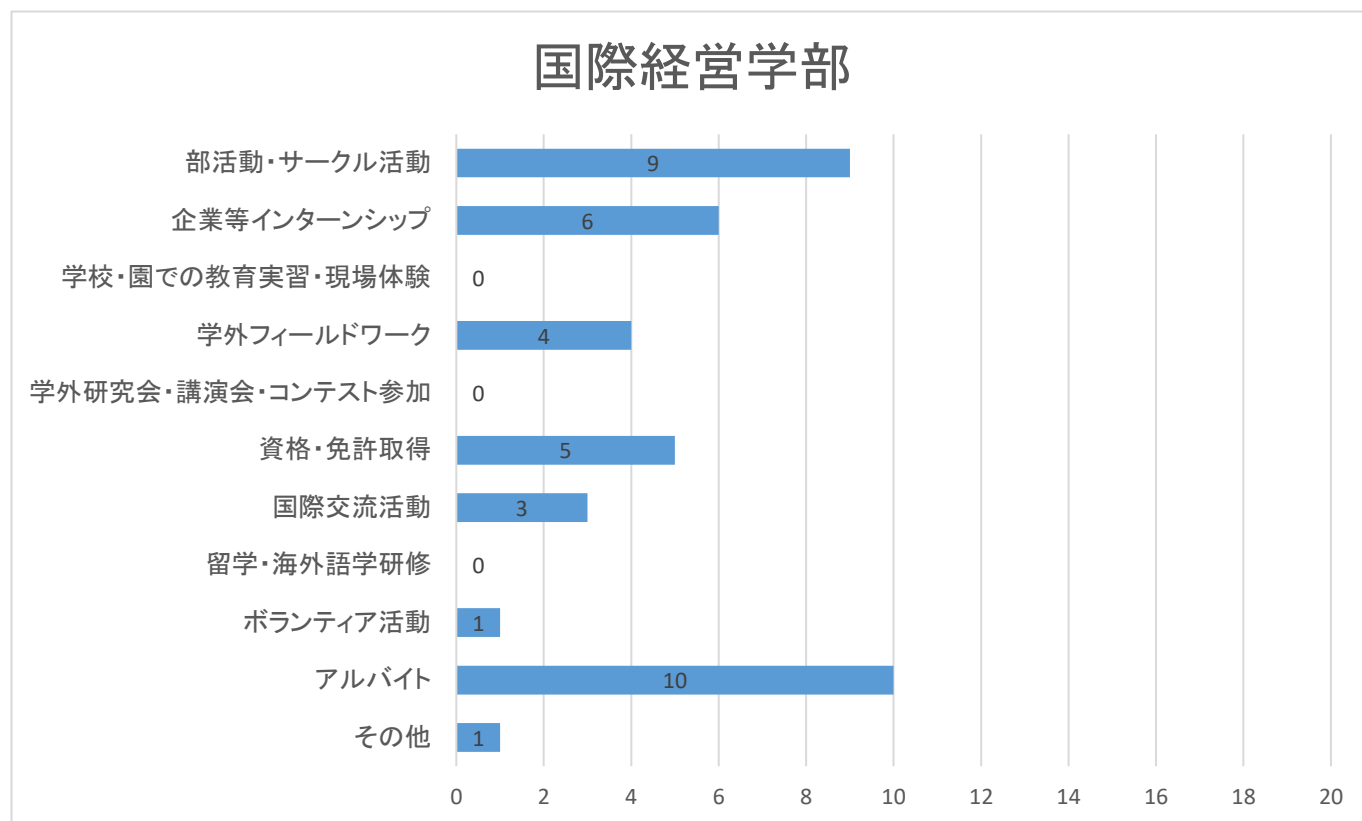
国際経営学部



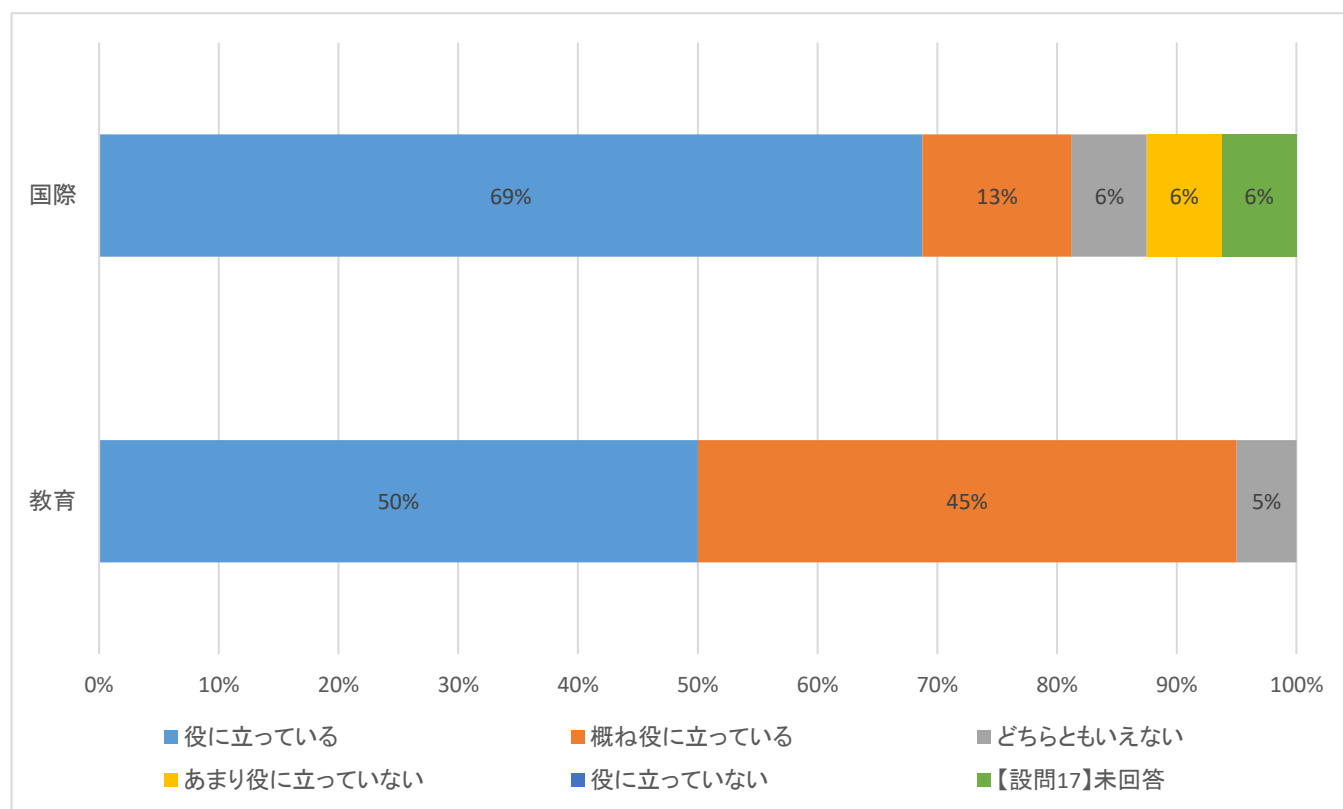
教育学部



問 17 在学中に経験した活動について教えてください（複数回答可）



問 18 在学中に経験した活動について、実社会においてどの程度役に立っていると思いますか



問 19 問 18 の回答理由をご回答ください（自由記述）

- ・チームワークの重要性、自己主張の大切さ、社会的言葉遣いを学ぶことが出来たから（国際経営学部）
- ・資格の知識が役立った（国際経営学部）
- ・学生のときにしか経験できない国際交流の機会を得られたから（国際経営学部）
- ・エアラインアカデミーでのマナーの授業や、英語の授業、考える力を付ける講義などは社会に出て大いに役に立っている（国際経営学部）
- ・多様な価値観に触れることができた他、行動力を身につける良いきっかけにもなった（国際経営学部）
- ・大学3年時の教育実習を通して早い時期から教員という仕事をイメージすることができた（教育学部）
- ・アシスタントティーチャーや教育実習を通して、教員という仕事について理解することができた。また、教員になる上で必要な知識や行動力等を養うことができたから（教育学部）
- ・さまざまな経験を重ね、人と出会い、物事に対する考え方が広がったように感じる。学生時代に学んだことや経験したことを踏まえて職場での活動を展開できたこともたくさんあった（教育学部）
- ・他者とコミュニケーションをとって活動する場が多かったため、今の教育現場においてさまざまな人がいることを理解し、歩み寄ろうとすることができると感じたから（教育学部）
- ・社会の仕組みについて詳しく知ることができた（教育学部）

問 20 本アンケートを通じて、本学の教育活動等に対して感じたこと・お気づきになったことなどがありましたら、ご意見をお聞かせください（自由記述）

- ・社会人としての自覚を持つ事ができたと感じた。
- ・教育学部所属であったものの、卒業後教育の道に進まなくとも社会人としての一步を踏み出せる教育活動を行っていただいていたのだと強く感じている。当時たくさんの選択肢の中から自分自身を見て手厚くサポートしてくださったおかげだと思っている。
- ・大学を卒業してから、在学中に勉強したことが今の仕事に活かしているという人はかなり少ないので、学部内でのコースをより細かくする、もしくはより専門的に勉強するために科を分けてエキスパートを育成しても良いのかなと思いました。私はありがたいことにエアラインアカデミーで専門的な知識をつけたり、社会に出てから必要なマナーや英語をしっかりと学ぶことができ、航空業界に就いても知識を深めることが出来ました。在学中の学生さん達の為になることであれば今後も是非このようなアンケートには協力させて頂きたいです。
- ・専門分野の授業をもっと増やしてもいいと思う
- ・共栄大学の実践形式の学びは大きな力になっているのでこれからも続けてほしい。
- ・共栄大学では、在学時から多くの経験をさせていただきました。教授は厳しいながらもいつも温かく見守ってください、とても感謝しております。毎日2時間かけて一日も休まずに行けたのは共栄大学の学びが大変価値のあるものだったからだと思います。ありがとうございました。